

法人理念	1) 児童福祉法の精神にのっとり、次世代を担う児童を育成する。 2) キリスト教精神の基づく教育・保育を実践する。 3) 地域社会への福祉活動を積極的に推進し、地域共生社会の構築に寄与する。		
事業所の理念及び支援方針	『未来を担う全ての子どもたちが、希望と自信を持って豊かで幸せな人生を歩めるように』という理念のもと、わたしたちはすべての子どもたちに教育・保育及び支援を提供します。 当放課後等デイサービスでは、当法人認定こども園シオンの教育・保育での実践(非認知能力の育み)を基盤とした支援の提供を、おこさん一人ひとりに合わせたプログラムで行います。 「非認知能力」とは学力や知識(IQ)とは異なり、テストなどで数値化ができない内面的なスキルのことを指します。具体的には、あきらめない・最後までがんばる・がまんする・思いやり・挑戦する・自信・コミュニケーション能力などです。 このようなスキルは、子どもの人生を豊かにする上でとても大切な生きる力となるものであり、その能力こそが社会への対応力にもつながると言うことができます。 非認知能力は生涯にわたって役立つ能力であり、特に幼児期や学童期に大きく発達することが証明されています。このようにこの時期での取り組みが非常に大切であるからこそ、わたしたちはすべての子どもたちへの丁寧な関わりと教育・保育及び支援の提供が重要であると考えます。 わたしたちはこの事業を通し、 おこさんにとって意義ある支援につながる「楽しんで遊ぶ経験」と「様々な活動体験」の提供をおこさん一人ひとりの姿に合わせたプログラムで行うことにより、おこさんの「生きる力」がより大きく育まれるよう精一杯に取り組んでまいります。		
営業時間	【営業時間】 10:00~19:00 【営業日】 月~土曜日(ただし祝日と年末年始及び事業所が定める日を除く)	送迎実施の有無	あり

支援内容

5つの活動を組み合わせたプログラム

『安心』できる『楽しい』環境づくりを基本として、

多様な『遊び』や『体験』の活動を通しておこさんの**非認知能力(生きる力)**を育みます。

わたしたちは、**療育の側面でのアプローチ(本人支援の5領域、専門的・個別的支援)**と

教育・保育の側面でのアプローチ(豊富な実践経験による活動展開)で、

おこさん一人ひとりに合わせた丁寧な関わりによる支援プログラムの提供を行います。

1. 生活

当法人の認定こども園での教育・保育の実践経験豊富な職員が中心となり、日々の丁寧な関わりを通しておこさんとの信頼関係を深め、楽しい遊び・体験活動を提供します。(SST)

がんばりや成功を褒める言葉、失敗してもそれまでのがんばりを認める言葉、挑戦しようとする姿を励まし応援する言葉... このようなポジティブな言葉掛けを中心とした丁寧な関わりを通して おこさんが日々の中で小さな自信を積み重ねていくことを大切に、「自分ならできる!」といった前向きな気持ちを育みます。(ABA)

見てわかる支援を取り入れることで、おこさんの自信と自立する力を育みます。(TEACCH)

今後、言語聴覚士(ST)・作業療法士(OT) による専門的な視点と指導を取り入れたプログラムを計画予定。「話す」「聞く」「食べる」「動作」の発達を促します。

学校がある日のデイリースケジュール	
	下校時間に合わせた送迎(各学校)
14:00	・手洗い、うがい、出席シール貼り ・学習支援(宿題など) ・個別支援計画書に合わせた個別課題の実施
15:30	おやつ
16:00	主活動(その日のメインの療育プログラム)
16:45	自由時間(好きなあそび・休憩・学習など)
17:15	帰りの会
17:40	送迎車出発(ご自宅まで)
	帰宅

本人支援の5領域

○色分けやイラスト・写真・文字・矢印マークを用いることで、一日のスケジュールや手順、時間、ルール等を示し、安心感の中でこども自身でできることを増やします。またこれらを用いることにより、基本的な生活習慣の習得と身辺の自立につながっていきます。(健康・生活)
○おこさんとの日頃の関わりを通して信頼関係を築き深めることを大切にすることで、おこさんが安心感を持って周囲の人と関わり、仲間づくりや集団への参加につなげることができるよう取り組みます。(人間関係・社会性)
○おこさんに合わせて 生活の場面ごとの適切な言動について職員がともに考え、ともに実践します。うまくできた時はともに喜ぶことを大切にします。これらを通し、適切な言動の習得とコミュニケーションの基礎的能力の向上を目指します。(認知・行動)(言語・コミュニケーション)
○自己選択・自己決定の機会を多く取り入れ、自己肯定感や自尊感情を高めることにつながります。自己決定する場面では必要な情報を十分に伝えます。(人間関係・社会性)

2. ソーシャルスキルトレーニング(SST)

ゲーム遊びやレクリエーションはこどもたちが特に喜んで参加できる活動ですので、様々な種類の遊びを取り入れています。おこさんが主体的・意欲的に参加することで、楽しみながら周囲との関わりの中でスキルを育むことができます。

成功体験を積み重ねることで自信を高めながら、他者との関わり方についてスモールステップで学んでいきます。

将来的には、言語聴覚士(ST)による専門的視点・指導を取り入れた計画的な個別課題の実施を取り入れます。

【プログラム例】

ルールのあるゲーム(トランプ・カルタ・人生ゲームなど)、レクリエーション(手作りおもちゃのゲームなど)、ロールプレイ、ことば遊び、買い物体験、お店屋さんごっこ、栽培活動など

本人支援の5領域

○ゲーム遊び等を通して認知能力も高めながら、ルールを守って遊ぶことの楽しさを感じるとともに、勝ち負けを通して気持ちの調整をしたり、望ましい参加の仕方を学びます。また他者との関わり(相手との調整・ぶつかり・交渉・協力・思いやり)から社会性を育みます。(人間関係・社会性)
○状況やおこさんの姿に合わせ、一人になれる場所やクールダウンできる場所・時間を確保します。(認知・行動)
○状況に応じた適切な伝え方について、その言葉や手段をともに考え実践することでおこさんをサポートします。(言葉・コミュニケーション)

4. 運動・感覚

楽しみながら身体の感覚の発達を促すため(感覚統合)、多様な運動(粗大運動)や遊びを取り入れた活動を実施します。

教育・保育の経験豊富な保育士の指導に加え、体育講師による運動遊びの実施や指導・助言を取り入れることによって、身体能力の向上や強いからだづくりにもつなげます。

【プログラム例】

ボール遊び(投げる・蹴る・転がす・取るなど)、ジャンプクッション、平均台、ドッチビー、器械運動(跳び箱・マット・鉄棒)、なわとび、プランコ、サーキット、紙コップタワー、当法人の課内教室であるダンス教室、公園に行こう!、金峰山登山など

本人支援の5領域

○器械運動・プランコ・平均台・ジャンプクッションなどを使用した粗大運動に楽しみながら参加することで、身体の揺れ・回転・傾き・筋肉や関節に力を入れる感覚を十分に感じます。(運動・感覚)
○現代の社会環境で経験することが少なくなった投げる・蹴る動作を十分に取り入れ、身体の基本動作・能力の向上や感覚の活用につなげます。(運動・感覚)
○公園で遊ぶことや登山といった定期的な屋外での活動、ダンス教室を通して、五感への刺激を増やしなが体を動かすことを楽しみます。こども同士での自然な関わりが生まれやすい環境にもなることから、社会性の発達も期待できます。(運動・感覚)(人間関係・社会性)

家族支援	・アセスメント、モニタリングとは別に、保護者との年1回の個別面談の実施・保護者同士の交流機会の提供・イベント開催による余暇支援・育児や困りごとへの相談援助(特性理解・行動の理解と関わり方など)
移行支援	・当法人 同敷地内における学童クラブ利用児童との交流及び併行利用・移行先事業所等への、保護者の同意を得た上での情報の共有と提供・ライフステージごとの情報提供
地域支援・地域連携	・保護者の同意を得た上での、学校や医療機関、関係各機関との情報の共有と提供及び調整等・地域清掃活動への参加・地域イベントへの参加
職員の質の向上	・当法人のこども園及び当事業所内における研修への参加及び勉強会の開催・外部研修への積極的参加・職員のキャリアアップ支援
主な行事等	・季節のイベントを開催(お花見・フルーツ狩り・金峰山登山・豆まきなど)・おやこ参加型のイベントの開催(陶芸あそび・川遊びなど)・保護者との個別面談

3. 創作・体験活動

おこさんの「やってみよう!」の気持ちを引き出し多様な活動プログラムを実施することで、おこさん自身が自分の「好き」「得意」「強み」の気づきにつながることを目的としています。

様々な素材(画用紙・折り紙・粘土・自然物など)や道具(はさみなど)を使った活動では、手指の動き(微細運動)の向上を目指すとともに、考える力・イメージする力・表現力などを育みます。経験豊かな保育士による専門的視点・指導を取り入れた個別課題の実施(将来的には、OT・STによる個別課題の実施も取り入れます)

【プログラム例】

制作活動(季節の行事にちなんだ制作物・翌月のカレンダー作り・プレジャーブック作り・折り紙遊びなど)、体験活動(季節の行事・陶芸あそび・木工あそび・カードめくりなど)

本人支援の5領域

○おこさんが自らの力で活動を進めているよう手順書(写真・文字入り)を使用し、成功体験を得ながら考える力を育みます。(認知・行動)
○自分の得意なこと等の気づきにつなげられるよう、具体的に前向きな言葉掛けを行うことで自信につなげ、様々な活動に挑戦しようとする意欲や積極性を育みます。自ら考えて行動する創作活動の経験を通して、問題解決能力を育みます。(人間関係・社会性)
○おこさんの姿やニーズに合わせた個別の課題を設定し、専門的視点からの指導や助言のもとで計画的にその向上を目指します。(運動・感覚)

5. 特別活動

土曜日や学校の長期休業期間を利用して、地域施設や公共交通機関を利用する活動の実施のほか、余暇支援・保護者や家族同士の交流につながることを目的とした機会の提供を行います。

当法人の同敷地内にあるシオン学童クラブ利用児童と活動をともにする機会を取り入れることで、実践経験を通してコミュニケーションスキルの更なる向上を目指します。

【プログラム例】

地域施設等の活用(サクラマチ・博物館・美術館・動植物園・図書館・防災センター・ミスタードーナツ・100円均一ショップなど)、市電の利用、クッキング、お花見(熊本城)、フルーツ狩り(優峰園)、おやこ de 陶芸あそび、川遊び(菊池少年自然の家)など

本人支援の5領域

○社会資源(公共施設・お店など)を活用した活動を通して望ましい行動を学ぶとともに、お金を使用して認知能力を育みながら社会の仕組みを学びます。普段なかなかできない体験を仲間とともに行うことで、楽しみながら人間関係・社会性を育みます。(認知・行動)(人間関係・社会性)
○当法人の学童クラブと活動をともにすることにより、より幅広い人間関係の中で状況に応じたコミュニケーションを実践する機会となります。(言語・コミュニケーション)(人間関係・社会性)